



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

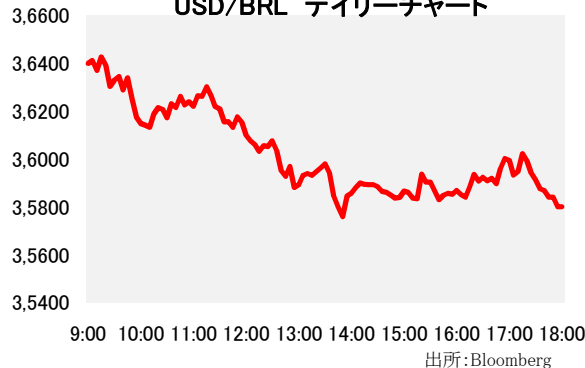
			3月16日	3月17日	3月18日	3月21日	3月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7420	3.6280	3.6240	3.6190	3.5800	-0.0390
	BRL/JPY	Spot	30.08	30.69	30.78	30.95	31.35	+0.40
	EUR/USD	Spot	1.1228	1.1315	1.1270	1.1240	1.1218	-0.0022
	USD/JPY	Spot	112.62	111.38	111.55	111.96	112.33	+0.37
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.919	13.928	13.940	13.961	13.949	-0.012
	Future	1Year(p.a.)	13.718	13.636	13.682	13.697	13.609	-0.088
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.351	3.300	3.601	3.572	3.636	+0.064
	USD	1Year(p.a.)	3.572	3.350	3.492	3.301	3.309	+0.008
株式	Bovespa指数		47.763	50.914	50.815	51.172	51.010	-161
CDS	CDS Brazil 5y		430.34	384.50	360.06	370.57	366.57	-4.00
商品	CRB指数		173.758	177.656	176.346	176.365	177.116	+0.75

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

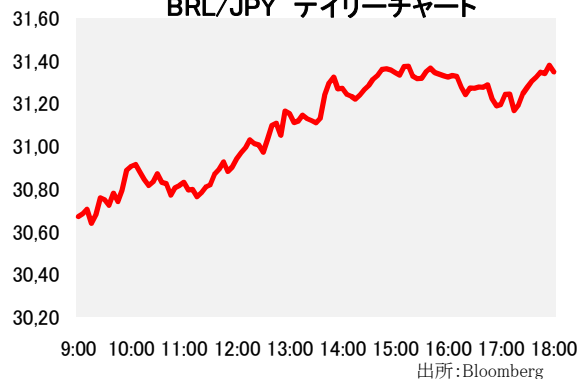
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
登録雇用創出合計	-45618	-104582	-99694
(米)FHFA住宅価格指数(前月比)	0.5%	0.5%	0.5%
(米)マーケット米国製造業PMI	51.9	51.4	51.3
(米)リッチモンド連銀製造業指数	0	22	-4

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



## 3. 要人コメント

ルセフ伯大統領	どんな状況にあっても辞任することはない。
---------	----------------------

## 4. トピックス

- 本日のリアルは3.6210で寄り付いた。
- 本日はブリュッセルの爆弾テロで欧州株式市場を中心にリスク資産の売りが見られた。リアルは寄り付き後、リスク資産の売りの動きにつられて売りが入ったほか、伯中銀が再びドル買い介入を実施したことを受け、直ぐさま本日の安値となる3.6510を付けた。
- しかし大口の資金流入の噂が聞かれると、リアルはじりじりと反発、3.6000を上回った。正午過ぎに本日の高値となる3.5760を付け、結局3.5800でクローズした。
- 市場は引き続きルセフ弾劾手続きやルラ元大統領の官僚就任に関する情報に注目しているが、聖金曜日の祝日を控えていることから今週の政治活動は比較的弱い状況である。
- WTI原油先物はブリュッセルでのテロを受けて一時低下したが、先週分の米国の原油在庫が86年振りの高水準からさらに増加すると予想されていることから反発、1バレル41ドルを回復した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。